



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年4月30日

上場会社名 株式会社北里コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 368A URL <https://www.kitazato.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 太綏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 鈴木 祐尚 (TEL) 0545(65)7122
 定時株主総会開催予定日 2026年6月25日 配当支払開始予定日 2026年6月26日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	10,947	6.3	5,858	1.3	5,903	2.4	3,895	2.8
2025年3月期	10,302	2.2	5,782	△2.2	5,767	△3.8	3,788	△4.6

(注) 包括利益 2026年3月期 3,895百万円(2.8%) 2025年3月期 3,788百万円(△4.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	97.38	-	20.1	28.3	53.5
2025年3月期	94.72	-	22.1	30.7	56.1

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 -百万円 2025年3月期 -百万円

(注) 当社は、2025年2月8日付で普通株式1株につき200,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	21,996	20,504	93.2	512.61
2025年3月期	19,748	18,249	92.4	456.24

(参考) 自己資本 2026年3月期 20,504百万円 2025年3月期 18,249百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,870	△237	△1,738	13,414
2025年3月期	3,526	△880	△1,658	11,460

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	0.00	0.00	0.00	41.00	41.00	1,640	43.3	9.6
2026年3月期	-	0.00	-	41.00	41.00	1,640	42.1	8.5
2027年3月期(予想)	-	0.00	-	41.00	41.00		40.4	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日~2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,346	3.6	6,115	4.4	6,137	4.0	4,059	4.2	101.50

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	40,000,000株	2025年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	-株	2025年3月期	-株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	40,000,000株	2025年3月期	40,000,000株

(注) 当社は、2025年2月8日付で普通株式1株につき200,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2025年3月期の「期中平均株式数」を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	10,708	5.7	5,683	1.9	5,772	3.3	3,811	3.9
2025年3月期	10,127	1.7	5,576	△2.9	5,589	△4.6	3,667	△5.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	95.28	-
2025年3月期	91.69	-

(注) 当社は、2025年2月8日付で普通株式1株につき200,000株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	21,266	19,830	93.2	495.75
2025年3月期	19,096	17,658	92.5	441.47

(参考) 自己資本 2026年3月期 19,830百万円 2025年3月期 17,658百万円

2. 2027年3月期の個別業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	11,102	3.7	5,981	3.6	3,956	3.8	98.90

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報の注記)	11
(重要な後発事象の注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界経済は米国の政策動向、中国経済の減速、中東情勢等の地政学的リスクにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの属する不妊治療分野においては、晩婚化・晩産化の進行を背景に国内外ともに需要は底堅く推移しており、特に海外においては医療水準の向上や治療アクセスの拡大により、中長期的な市場成長が見込まれております。

このような環境のもと、当社グループは、凍結保存関連製品を中心とした製品供給体制の強化に加え、各地域における販売体制の強化、製品改良及び新製品の投入を通じて、事業基盤の拡充を進めてまいりました。

当連結会計年度における連結業績は以下のとおりです。

<売上高>

当連結会計年度における売上高は10,947百万円と前期比6.3%の増収となりました。

国内においては、医療機器の安定的な需要に加え、新規を含めた顧客へのフォローを徹底する等、営業活動を強化したことにより、売上高は3,660百万円（前期比4.7%増）となりました。

海外においては、欧州は新規顧客の獲得や新製品の展開が進んだことを背景に、MediaやCryodeviceの需要が引き続き堅調に推移しました。中国は前連結会計年度に生じたスポット販売の反動により一時的な減少となりましたが、米国やインドでは顧客開拓が進んだこと等により販売が増加し、海外売上高は7,287百万円（前期比7.1%増）となりました。

製品区分別ではCryodeviceが前連結会計年度に中国で生じたスポット販売の影響で一時的な減少となりましたが、それ以外の製品で前期を上回る結果となりました。

[地域別売上高]

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	10,302	10,947	645	106.3%
日本	3,496	3,660	163	104.7%
海外	6,805	7,287	481	107.1%
欧州	3,448	3,990	541	115.7%
米国	1,022	1,120	98	109.6%
中国	868	672	△195	77.5%
インド	467	593	125	126.9%
その他	998	909	△88	91.1%

[製品区分別売上高]

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期	増減額	増減率
売上高	10,302	10,947	645	106.3%
Media	3,607	4,004	397	111.0%
Cryodevice	3,165	3,081	△83	97.4%
医療機器	2,324	2,512	187	108.1%
Micro Tools	1,009	1,099	89	108.8%
その他	194	249	54	128.1%

<利益>

売上総利益は、製品ミックスの悪化及びOEM製品の増加に伴う一部原価率の上昇があったものの、売上高の増加により7,214百万円（前期比3.4%増）となりました。

営業利益は、海外展開強化に伴う学会出展費用や各国認証取得費用、上場体制維持等の販管費が発生し5,858百万円（前期比1.3%増）となりました。

経常利益は、上場関連費用の計上があったものの、為替差益等の営業外収益の増加により5,903百万円（前期比2.4%増）となりました。

この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は3,895百万円と前期比2.8%の増益となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産合計は、21,996百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,247百万円増加しました。これは主に、安定的な利益創出を背景として、現金及び預金が1,953百万円増加したことによるものです。

負債合計は、1,491百万円となり、前連結会計年度末と比較し、7百万円減少しました。これは主に、未払法人税等が61百万円増加した一方で、買掛金が64百万円減少したことによるものです。

純資産合計は、20,504百万円となり、前連結会計年度末と比較し、2,255百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益による増加が3,895百万円あった一方で、配当金の支払いによる減少が1,640百万円あったためです。

この結果、自己資本比率は93.2%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。))は、前連結会計年度末に比べ1,953百万円増加し、13,414百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は3,870百万円(前期は3,526百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益5,904百万円があったものの、棚卸資産の増加額209百万円、売上債権の増加額102百万円、法人税等の支払額1,868百万円等があったことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は237百万円(前期は880百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出239百万円等があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は1,738百万円(前期は1,658百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額1,640百万円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、資源価格や為替動向、地政学的リスク等の影響により、経済環境の不確実性は引き続き高い状況が想定されます。一方で、不妊治療分野においては、社会的ニーズの高まりを背景に、中長期的な需要の拡大が継続するものと認識しております。

このような環境のもと、当社グループは、凍結保存関連製品を中心とした競争優位性を基盤に、製品ラインナップの拡充、認証取得の推進及び販売体制の強化を通じて、持続的な成長を目指してまいります。

国内においては、競争環境は継続するものの、顧客ニーズを踏まえた製品展開と営業活動の強化により、安定的な売上の確保を図ってまいります。

海外においては、欧米を中心に、市場成長を背景に顧客開拓を進めることで販売拡大が継続する見込みであり、製品ラインナップの拡充及び認証取得の推進により、さらなる成長を図ってまいります。一方で、中国・インドを含むアジア地域においては、中長期的な成長を見据え、販売体制及び供給体制の整備を進めることで、事業基盤の強化に取り組んでまいります。

以上により、2027年3月期の連結業績につきましては、売上高11,346百万円（前期比3.6%増）、営業利益6,115百万円（前期比4.4%増）、経常利益6,137百万円（前期比4.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益4,059百万円（前期比4.2%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,460	13,414
売掛金	1,459	1,561
商品及び製品	388	399
仕掛品	487	597
原材料及び貯蔵品	914	1,003
その他	124	170
流動資産合計	14,835	17,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,110	2,933
機械装置及び運搬具	252	261
土地	2,024	2,024
建設仮勘定	711	-
その他	392	466
減価償却累計額	△939	△1,103
有形固定資産合計	4,552	4,582
無形固定資産		
その他	61	47
無形固定資産合計	61	47
投資その他の資産		
繰延税金資産	188	108
その他	111	110
投資その他の資産合計	300	219
固定資産合計	4,913	4,849
資産合計	19,748	21,996
負債の部		
流動負債		
買掛金	252	187
未払法人税等	897	958
賞与引当金	59	60
製品保証引当金	5	7
その他	204	216
流動負債合計	1,419	1,430
固定負債		
その他	79	61
固定負債合計	79	61
負債合計	1,499	1,491
純資産の部		
株主資本		
資本金	10	10
利益剰余金	18,239	20,494
株主資本合計	18,249	20,504
純資産合計	18,249	20,504
負債純資産合計	19,748	21,996

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	10,302	10,947
売上原価	3,327	3,732
売上総利益	6,974	7,214
販売費及び一般管理費	1,191	1,355
営業利益	5,782	5,858
営業外収益		
受取利息	5	29
受取配当金	0	—
受取賠償金	3	—
為替差益	—	68
保険解約返戻金	0	—
保険配当金	2	0
その他	0	1
営業外収益合計	11	99
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	5	—
上場関連費用	17	51
その他	2	0
営業外費用合計	26	54
経常利益	5,767	5,903
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
送金詐欺損失	25	—
特別損失合計	25	0
税金等調整前当期純利益	5,741	5,904
法人税、住民税及び事業税	1,942	1,930
法人税等調整額	10	79
法人税等合計	1,952	2,009
当期純利益	3,788	3,895
親会社株主に帰属する当期純利益	3,788	3,895

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	3,788	3,895
包括利益	3,788	3,895
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,788	3,895

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	10	16,050	16,060	16,060
当期変動額				
剰余金の配当		△1,600	△1,600	△1,600
親会社株主に帰属する当期純利益		3,788	3,788	3,788
当期変動額合計	—	2,188	2,188	2,188
当期末残高	10	18,239	18,249	18,249

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
当期首残高	10	18,239	18,249	18,249
当期変動額				
剰余金の配当		△1,640	△1,640	△1,640
親会社株主に帰属する当期純利益		3,895	3,895	3,895
当期変動額合計	—	2,255	2,255	2,255
当期末残高	10	20,494	20,504	20,504

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,741	5,904
減価償却費	175	190
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	1
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△5	△29
支払利息	1	1
為替差損益 (△は益)	2	△59
上場関連費用	17	51
固定資産除売却損益 (△は益)	0	△0
送金詐欺損失	25	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△271	△102
棚卸資産の増減額 (△は増加)	173	△209
仕入債務の増減額 (△は減少)	116	△64
その他	△181	27
小計	5,806	5,712
利息及び配当金の受取額	5	29
利息の支払額	△1	△1
送金詐欺損失の支払額	△25	—
法人税等の支払額	△2,257	△1,868
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,526	3,870
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△899	△239
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形固定資産の取得による支出	△4	—
定期預金の払戻による収入	30	—
その他	△5	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△880	△237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,600	△1,640
リース債務の返済による支出	△44	△45
上場関連費用の支出	△14	△53
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,658	△1,738
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	59
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	986	1,953
現金及び現金同等物の期首残高	10,474	11,460
現金及び現金同等物の期末残高	11,460	13,414

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、医療機器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	456円24銭	512円61銭
1株当たり当期純利益	94円72銭	97円38銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当社は、2025年2月8日付で普通株式1株につき200,000株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	3,788	3,895
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	3,788	3,895
普通株式の期中平均株式数(株)	40,000,000	40,000,000

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。